

1 【活動の趣旨】

目的：学区内を流れる伯母川でホタルの観察会を行ない、自然と環境保全の重要性を学ぶ。

日時：6月9日（土）19：30～21：00

場所：志津南まちづくりセンター、伯母川沿い（岡本西地区～青山小学校付近）

参加人数：小学生 86名 スタッフ/保護者 約121名

2 【特徴的な活動内容】

19：30～20：00

志津南まちづくりセンターに集合し、DVDを鑑賞してホタルの生態や生息するための自然環境の重要性について学習した。



20：00～21：00

大津市青山の伯母川沿いに移動し青山小学校付近から岡本西地区まで散策しながらホタルの観察会を実施した。今年はホタルの発生数が多く、100匹以上のホタルが乱舞する様子が観察できた。子どもたちは観察するのはもちろん、ホタルを手にもつまんで間近で発光する様子を確認するなど積極的に学習に取り組んだ。

3 【実施に当たっての工夫】

夜間の川沿いでの事業ということもあり安全面には気を配り、移動ルートの検討を行った。そのうえで危険箇所や要所に人員を配置し、川への転落やルート外れを防止した。事業と関係なく個人的に観察に訪れている方々と参加者を区別するため、子どもたちには、手首に装着するサイリウムを配布した。これにより終了時に参加者への呼びかけがしやすくなった。

4 【事業の成果】

- ・多数の小学生やその保護者の参加があり、環境保全の重要性について広く浸透を図ることができた。
- ・数多くのホタルがいたことで、子どもたちにとってはホタルが飛び交う様子を観察できたと共に、学区内に豊かな自然が残っていることを知る良い機会となった。

5 【事業実施上の課題・今後の実施に向けて】

夜間の事業ということで、保護者同伴での参加が必要であるが、会場が学区の端にあり駐車場の台数が限られるため、交通手段や駐車場確保等が課題である。